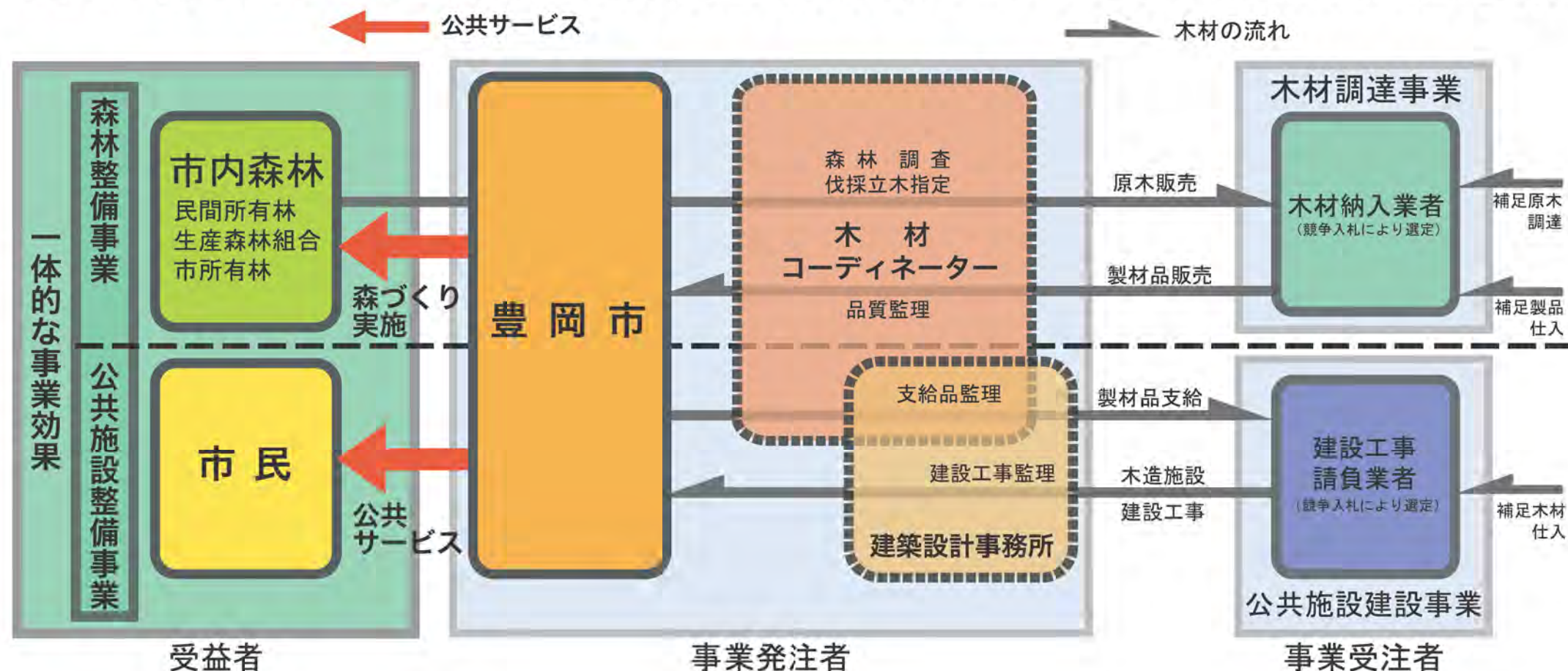


# 市内の森づくりに直結した木材調達分離発注による公共木造施設建設事業



## ■木材調達分離発注の事業効果

建設工事と木材調達の分離発注の制度を採用することで、

- ① 木材の伐採・搬出・製造と建築工事に余裕のある工程管理が可能となり、木造施設の品質・性能を向上させることができる。
- ② 建設工事一式発注と比較して、公共主体が木材調達の方針を主体的に采配することが可能となる。事業主体として木材調達に主導的な立場をとり、市内産木材の有効活用を促進し、公共施設の建設・補修・再生事業を機会に地域の森づくりの動機付けを行う。
- ③ 木材調達と建設工事請負の分離発注により、地域資源を活かす担い手として木材納入業者による木材調達のノウハウと、建設工事請負業者による木造建築施工の専門性の双方を活かす、地域の力で公共事業を実現する。

結果、身近な森づくりと直結した地域経済・地域産業の活性化と、高品質・高性能な展示効果の高い公共木造施設が整備でき、地域産木材の活用を広く市民に普及啓発できる。

工程表

工事名: 建設工事			工程表																							
年			第一年度												第二年度											
月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			事業企画	森林エリアデータ収集	木材調達方針の決定	基本設計		森林エリア調査	実施設計		立木調査	木材情報と建築設計の調整			木材調達積算	国庫補助事業着手承諾	木材納入業者契約		国庫補助事業交付決定	建築本体工事業者契約	本体工事着手		現場建方			仮設撤去
A	事業監理業務	発注業務 豊岡市建築住宅課							実施設計発注							木材調達監理者発注業務	木材納入業者発注業務		建築工事監理業務発注	建築工事発注業務						
B		検査業務 豊岡市建築住宅課											実施設計業務審査					国庫補助設計審査		構造材検査				本体工事請負業務審査	造作材検査	監理業務審査
C	森林調査業務	森林調査・立木調査業務 木材調達・建築設計との調整		森林基礎データ収集				森林エリア調査	立木調査	実施設計に木材情報提供					木材調達設計書作成・単価根拠作成									木材調達監理業務審査	竣工検査	
D	設計監理業務	豊岡市建築住宅課 農林水産課	事業企画 基本設計	事業企画、木材調達方法の検討 (木材調達分離発注方針の確認)	(基本設計・概算見積)				予算計上							建築確認申請										
E		設計業者	実施設計 確認申請 (委託設計事務所)					実施設計業務				積算業務				解体・仮設設計業務見直し			建築本体設計業務見直し							
F	建築工事監理者	工事監理業務 (委託設計事務所)																	建築工事監理							
G	木材納入業務	木材調達設計監理者 (委託コンサルタント)	基本設計及び木材調達に必要な調査検討													木材調達監理										
H	建設工事業務	構造材調達納入														構造材調達			構造材納材							
I		造作材調達納入														下地材・造作用材調達							下地材・造作材納材			
J	建設工事業務	仮設事務所建築工事																(仮設工事)								仮設撤去
K		既設建物解体撤去工事																	(仮設解体撤去工事)							
L	建設工事業務	本体工事請負業者	本体工事																	建築本体工事						
M		木工事																		プレカスト加工			現場建方	造作工事		
N	付帯工事																									外構工事



調達木材実績報告						
調達分類				根拠	事業主体	事業担当及びコンサルタント
建築資材	A	請負業者調達材		県産材証明	豊岡市教育委員会 生涯学習課	豊岡市建築住宅課 設計事務所
	B		木材納入業者購入材	県産材証明		豊岡市農林水産課 木材コーディネーター
	C	支給材	原木調達材	調達過程を説明 (市内産木材調達実績報告参照) →別紙参照		

調達木材実績報告(市内産木材の場合)									
工程		事業監理				発注者 担当部局	木材納入業者	建設工事請負者	
A	調査	(原木調達先調査報告)		伐採地	立木	農林水産課			
B	伐採	伐採搬出段階の監理報告	【監理報告書①】 伐採位置図 伐採搬出状況写真 山土場での検品状況写真	伐採地 山土場	原木	農林水産課	【提出書類①】 原木納品書 原木数量明細書(伐採地明記) 伐採届写し		
C	製造	製造段階の監理報告 品質確認資料	【監理報告書②】 製材所概要・位置図 品質確認時の状況写真	製材所					
				製材所	製品	農林水産課	【提出書類②】 納品書 納入材明細書		
D	受取	製品受取時の監理報告 品質・寸法・数量確認	【監理報告書③】 品質・数量確認状況写真 JAS脊品であることを証明する書類  ※JAS同等品の場合は、木材コーディネーターによる品質検査とする	発注者					
				発注者	製品	建築住宅課		【提出書類③】 受領書 受領明細書	
E	支給	製品支給時の監理報告 品質・寸法・数量確認	【監理報告書④】 納品場所概要・位置図 品質・数量確認状況写真	建築現場					

**納入木材特記事項****1) 一般事項**

- 1-1.) 本特記は、当該木材納入における伐採・搬出・製材・乾燥・加工・保管の工程に適應する。
- 1-2.) 本特記中、“供給者”の表記は、**豊岡市**を示す。
- 1-3.) 本特記中、“納入者”の表記は、木材納入業者を示す。
- 1-4.) 本特記中、“受領者”の表記は、建築本体工事請負業者を示す。
- 1-5.) 本特記中、“専門員”の表記は、**豊岡市**が認める木材コーディネーターを示す。
- 1-6.) 納入者は、事前に専門員が求める製造方法・保管方法等についての検討を行い、木工事施工計画書を作成の上、専門員の承認を得ること。
- 1-7.) 納入者は、業務契約後直ちに製造・納材の全体工程表を作成し、専門員の承認を得なければならない。
- 1-8.) 建築本体工事の請負業者が決定した後、納入者・受領者・建築本体工事監理者・専門員の四者により協議を行い、建築工事全体工程表に納材スケジュールを示す。
- 1-9.) 自然災害等避けられない理由により、建築工事の中断を余儀なくされた場合、納入木材の製造にかかわる保管業務は納入者が行う。
- 1-10.) 納入木材の製造・保管に関わる検査・品質確認・試験等の費用は納入者の負担により行う。
- 1-11.) 納入者は、専門員から納入木材の製造・保管に関する資料・検査記録・受領書等の書類提出を支持された場合、速やかに資料の開示を行う義務を負う。
- 1-12.) 当該木材納入に必要な木材の品質及び等級は、別紙【調達木材仕様書】による。

**2) 原木調達**

- 2-1.) 調達する木材は、原則**豊岡市産**の原木を使用する。  
納入者は、専門員が指定する納入木材に関して、**豊岡市産**の原木で製造された納入木材であることを、原木の出荷証明書の提出により示さなければならない。
- 2-2.) 供給者により原木調達場所が指示される場合は、その指定する森林の伐採許可範囲から原木の調達を行う。
- 2-3.) 供給者により原木調達先として、一時保管場所が指定された場合は、専門員と協議の上、納入木材に適当と判断したものを採用する。
- 2-4.) 納入者は、供給者が指定する伐採許可範囲および一時保管場所から調達した納入木材と、それ以外の木材の区別が可能な取り扱いを行う。
- 2-5.) 止むを得ず**豊岡市産**原木から調達できない場合は、監督員の承認のもと、兵庫県内産原木を使用することができる。

### 3) 製材品

- 3-1.) 納入木材明細書にある部材寸法は、すべて仕上げ寸法とする。
- 3-2.) 仕上げ程度は、納入木材明細書に特記なき限り、乾燥・4面加工仕上げとする。  
仕上げ程度は、サンダー#240 がけとする。
- 3-3.) 納入木材の含水率は、別紙【調達木材仕様書】に示す基準とする。
- 3-4.) 土台は加圧注入防腐・防蟻処理（性能区分 K3 対応）同等とする。
- 3-5.) 納入される合板はすべて、F4 対応品とする。
- 3-6.) 受領者への納材が完了するまでの保管・運搬は、専門員の指示に従い納入者の責任において行う。
- 3-7.) 納入木材には、以下の項目を明記したラベルシールの添付を行う。  
No.  
用途  
寸法  
原木出材場所
- 3-8.) 納入木材明細書に記載される数量の確保に必要な予備材は、納入者の責任において行う。

### 4) 保管・納材方法

- 4-1.) 保管方法については、専門員による立ち入り検査が適宜行われ、不具合を指摘された場合は、指示に従い適切な対応を行うこと。
- 4-2.) 納材方法は、納入者の定める保管場所において、受領者が引き取りを行う。配送費は受領者の負担で行う。
- 4-3.) 納入時、納入者は定められた検査項目を受領者に依頼し、専門員が定めた期日までに、受領者の署名・捺印された受領書を受け取る。
- 4-4.) 納入木材の品質確認は納入の都度行い、専門員が定めた日時・場所において、納入者・受領者・専門員の立会いのもと行う。
- 4-5.) 納入時の確認項目は以下に定める項目とする。  
断面寸法  
長さ  
等級  
数量  
表面仕上げ  
含水率  
その他専門員が必要とした項目



**調達木材仕様書****1) 調達木材の含水率**

調達木材は、乾燥 JAS 規格による以下基準同等とする。(工場出荷時)

種別	含水率	備考
構造材・下地材	20%以下	全断面の平均推定値とする。
造作材	18%以下	全断面の平均推定値とする。

**2) 木材の等級****2-1.) 構造材の等級**

JAS 規格目視等級区分甲種Ⅰ・Ⅱ 2 級同等以上、乙種 2 級同等以上とする。

化粧の場合は、製材 JAS 規格の造作材製材の材面基準上小節同等以上とする。

小屋材及び吊り木受けに丸太を使用する場合は素材 JAS 規格 2 等同等以上とする。

**2-2.) 下地材の等級**

JAS 規格下地用製材区分 1 級同等以上とする。

**2-3.) 造作材の等級**

JAS 規格造作用製材区分による以下等級同等以上とする。

使用箇所	部材種類	
生地そのまま又は透明 塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、鴨居、 かまち等	小節
	押入、戸棚などの内面造 作の類	小節
不透明塗料塗りの場合		1 等

**3) 木材の樹種**

特記なき限り以下樹種とする。

使用箇所	樹種	備考
構造材	松・杉・桧	
造作材	杉・桧	
下地材	杉	
内部 額縁	杉	
内部 造作材（塗下）	杉	

特記無き部材の樹種は[ 桧 ]とする。

代用樹種については、原則認めない。

樹種 [ 杉 ・ 桧 ] は、原則豊岡市産木材とする。止むを得ない場合は、兵庫県産木材とすることができる。

**支給木材特記事項****1) 一般事項**

- 1-1.) 本特記は、木工事材料における、**豊岡市**支給材に対して適応する。
- 1-2.) 本特記中、“供給者”は**豊岡市**を示す。
- 1-3.) 本特記中、“納入者”は木材納入業者を示す。
- 1-4.) 本特記中、“受領者”は建築本体工事請負業者を示す。
- 1-5.) 本特記中、“監理者”は建築本体工事監理者を示す。
- 1-6.) 本特記中、“専門員”とは**豊岡市**が定める木材コーディネーターを示す。

**2) 材料の品質・寸法・数量および、納材スケジュール**

- 2-1.) 支給製材品の品質は、別紙【調達木材仕様書】による。
- 2-2.) 支給木材の納材スケジュールは、納入者・受領者・監理者・専門員の四者により本工事契約後直ちに調整を行い、建築工事全体工程表に明示する。

**3) 材料検査**

- 3-1.) 支給材の品質確認は専門員が定めた日時・場所において、納入者・受領者・専門員の立会いのもと行う。品質確認後、受領者は直ちに支給材の引取りを行う。
- 3-2.) 材料納入時、受領者は納入者が作成した受領書に定められた検査項目を確認したうえで署名・捺印を行い、専門員が定めた期日までに、供給者・納入者に提出しなければならない。
- 3-3.) 納入時の検査確認項目は、以下とする。
  - 断面寸法
  - 長さ
  - 等級
  - 数量
  - 表面仕上げ
  - 含水率
  - その他専門員が必要とした項目
- 3-4.) 納入時の品質確認時、受領者が支給材料に対して建築施工上問題があると判断した場合は、受領書提出前に専門員に対してその旨を伝え、専門員の指示を求めること。

**4) 運搬・保管**

- 4-1.) 納入後の支給木材の運搬計画・保管計画は、監理者・専門員が求める項目について事前に検討を行い、木工事施工計画書を作成の上、監理者及び専門員の承認を得ること。
- 4-2.) 保管状態については、適宜監理者・専門員の検査が行われ、不具合を指摘された場合は、指示に従い適切な対応を行うこと。



**調達木材仕様書****1) 調達木材の含水率**

調達木材は、乾燥 JAS 規格による以下基準同等とする。(工場出荷時)

種別	含水率	備考
構造材・下地材	20%以下	全断面の平均推定値とする。
造作材	18%以下	全断面の平均推定値とする。

**2) 木材の等級****2-1.) 構造材の等級**

JAS 規格目視等級区分甲種Ⅰ・Ⅱ 2 級同等以上、乙種 2 級同等以上とする。

化粧の場合は、製材 JAS 規格の造作材製材の材面基準上小節同等以上とする。

小屋材及び吊り木受けに丸太を使用する場合は素材 JAS 規格 2 等同等以上とする。

**2-2.) 下地材の等級**

JAS 規格下地用製材区分 1 級同等以上とする。

**2-3.) 造作材の等級**

JAS 規格造作用製材区分による以下等級同等以上とする。

使用箇所	部材種類	
生地そのまま又は透明 塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、鴨居、 かまち等	小節
	押入、戸棚などの内面造 作の類	小節
不透明塗料塗りの場合		1 等

**3) 木材の樹種**

特記なき限り以下樹種とする。

使用箇所	樹種	備考
構造材	松・杉・桧	
造作材	杉・桧	
下地材	杉	
内部 額縁	杉	
内部 造作材(塗下)	杉	

特記無き部材の樹種は[ 桧 ]とする。

代用樹種については、原則認めない。

使用原木は原則豊岡市産木材とする。止むを得ない場合は、監督員の承認を得て、兵庫県産木材とすることができる。